

ASIAGAP 指導員基礎差分研修の概要

ASIAGAP 指導員基礎差分研修の目的

- ① 「ASIAGAP 総合規則」と「JGAP 総合規則」の違いを理解する。
- ② 「ASIAGAP」と「JGAP」の管理点と適合基準の違いを理解する。
- ③ ASIAGAP 指導員の資格をとる。
※指導員登録のない方は当該研修の受講による指導員登録はできません。

ASIAGAP 指導員基礎差分研修<青果物・穀物・茶>内容

- ・ ASIAGAP 管理点と適合基準の変更点
 - 「GFSI」について
 - HACCP、CODEX-HACCP について
 - リスク評価の考え方
- ・ ASIAGAP 基準文書の解説
 - A. 経営の基本(管理点 1～10)
 - B. 経営資源の管理(管理点 11～22)
 - C. 栽培工程における共通管理(管理点 22～25)
 - D. スプラウト専門項目
 - E. きのこと類専用項目
- ・ ASIAGAP 総合規則
 - 審査・認証について
 - 審査のタイミング、種類、有効期限、申込方法等
 - 消費者向け ASIAGAP マークの表示
- ・ 質疑応答
- ・ 受講者アンケートの回収

試験および修了合格の基準

- ・ ASIAGAP 指導員基礎差分研修には試験はありません。
- ・ 合格基準は以下の通りです。
 - 研修期間中の出席時間が全体の 90%を超えていること

合否の発表、再受講、再試験について

- ・ 合格した受講者には研修終了後に修了証をお渡しいたします。また、後日、日本 GAP 協会より指導員カードが送付されます。
- ・ 研修期間中の出席時間が 90%に満たない受講者は、12 か月以内に 1 度だけ再受講することができます。再受講しても条件を満たせない場合には、修了証を送付いたします。